

## 広島大学の女性活躍促進の取組

### 【1】「広大システム改革による女性研究者活躍促進」の取り組みの特徴

#### (1) 女性教員の積極的採用の永続的システム構築

広島大学では、学長のリーダーシップのもと、人件費ポイント全学調整分の3割程度をシステム改革分として確保し、理工農系の女性教員を採用する部局等に配分することを決定した。それにより、毎年度4名（平成22年度は3名）以上の理工農系の女性教員を採用する。システム改革分の配分を受けて女性教員を採用した部局は、3～5年後にはそれを部局の人件費ポイント分として吸収することになっており、返却されたシステム改革分人件費ポイントは次の理工農系女性教員の採用等に充てられる。

#### (2) 部局長で構成された『理系女性研究者活躍促進プロジェクト』

理工農系女性教員の採用に関わるPDCAサイクルを担うのは、理工農系分野のスタッフを抱える9部局の部局長によって構成される『理系女性研究者活躍促進プロジェクト』である。このプロジェクトによって、平成22年度から平成26年度までの理工農系女性教員の採用計画がすでに立てられており、システム改革最終年度も、順調に新規養成女性教員を採用している。

#### (3) 女性研究者活躍促進支援の仕組み

女性研究者活躍促進のため、理系女性研究者活躍促進プロジェクトの活動を、男女共同参画推進室、人材育成推進室女性研究者キャリアアップ部会、及び大学経営企画室の3室が連携しながらバックアップする体制となっており、①既在籍女性教員（理工農系）のポストアップ、②メンター教員の配置とメンター講習会の開催、③研究スキルアップ支援（研究資金獲得実践セミナー／女性研究者スキルアップ交流会／科学英語論文ライティングセミナー等）、④研究者コミュニティ支援（メンター教員を含む女性研究者MLの運営／女性大学院生MLの運営／新公募情報検索システムの構築）を実施している。

### 【2】平成26年度までの取り組み状況

新規養成女性教員が19名採用されたため、独自養成女性教員も含めると、事業開始前(H21年度)と比べて理工農系女性教員は約2.1倍となった。特に、准教授層は8倍増となっている。大学全体の女性教員の割合は平成26年5月1日現在14.1%となっており、理系部局に限らず全体的に女性教員の採用割合は増大している。また、平成23年度には女性の理事・副学長が誕生し、副理事クラス以上の役員における女性は4名となった。平成22年～26年度までに女性研究者キャリアアップセミナーを多数実施しており、若手女性研究者がネットワークを広げる良い機会となっている。シニア教員にとっても、新規養成女性教員のメンターとなることで、助言能力を向上させる機会が増えている。今後も引き続き、全学レベルで、女性教員の活躍促進と優れた大学教員養成システムの構築を目指す。

### 【3】女性研究者研究活動支援事業（拠点型）への拡大

本学は平成25年度女性研究者研究活動支援事業（拠点型）に採択された（平成27年度末まで）。同事業を進めるため、学内に「女性研究活動委員会」及び他機関と連携のための「産学官連絡会」を発足させ、女性大学院生のキャリアスタート支援、シニア女性研究者のマネジメント研修、他機関への女性研究者支援の普及等の事業を実施している。

---

【連絡先】 広島大学 男女共同参画推進室

TEL : 082-424-4428 FAX : 082-424-4355 E-mail : syokuin-jyosei@office.hiroshima-u.ac.jp

URL : <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sankaku/>

# 広島大学の女性活躍促進の取組



大学で「男女共同参画を推進する」ことが必要であることの意味

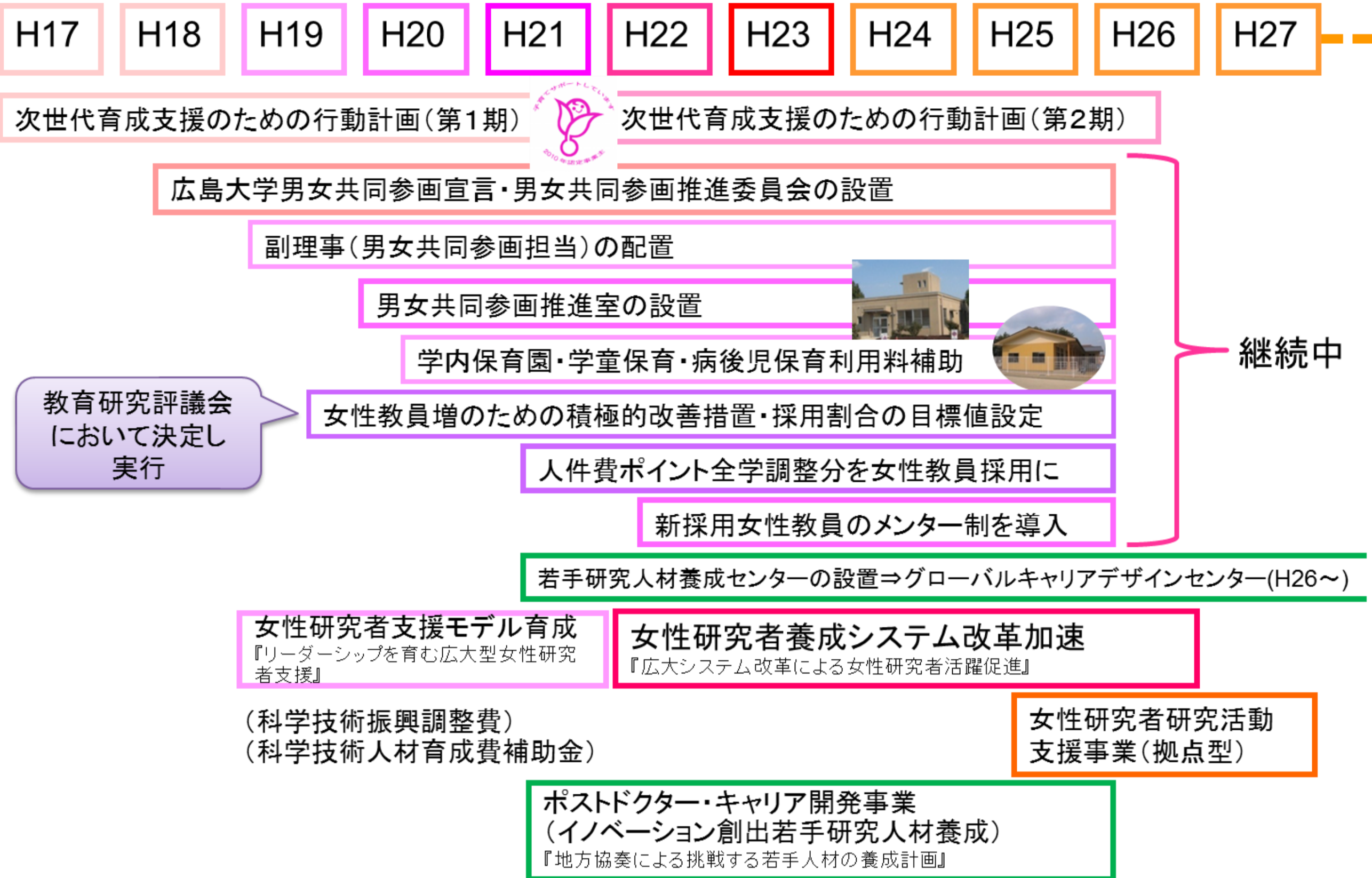
社会で指導的な立場になる人材を育てるのが大学。教職員が男女の区別なく活躍している環境で学生を育てる

そのようにして育った学生が社会にでていけば、社会が変わっていく

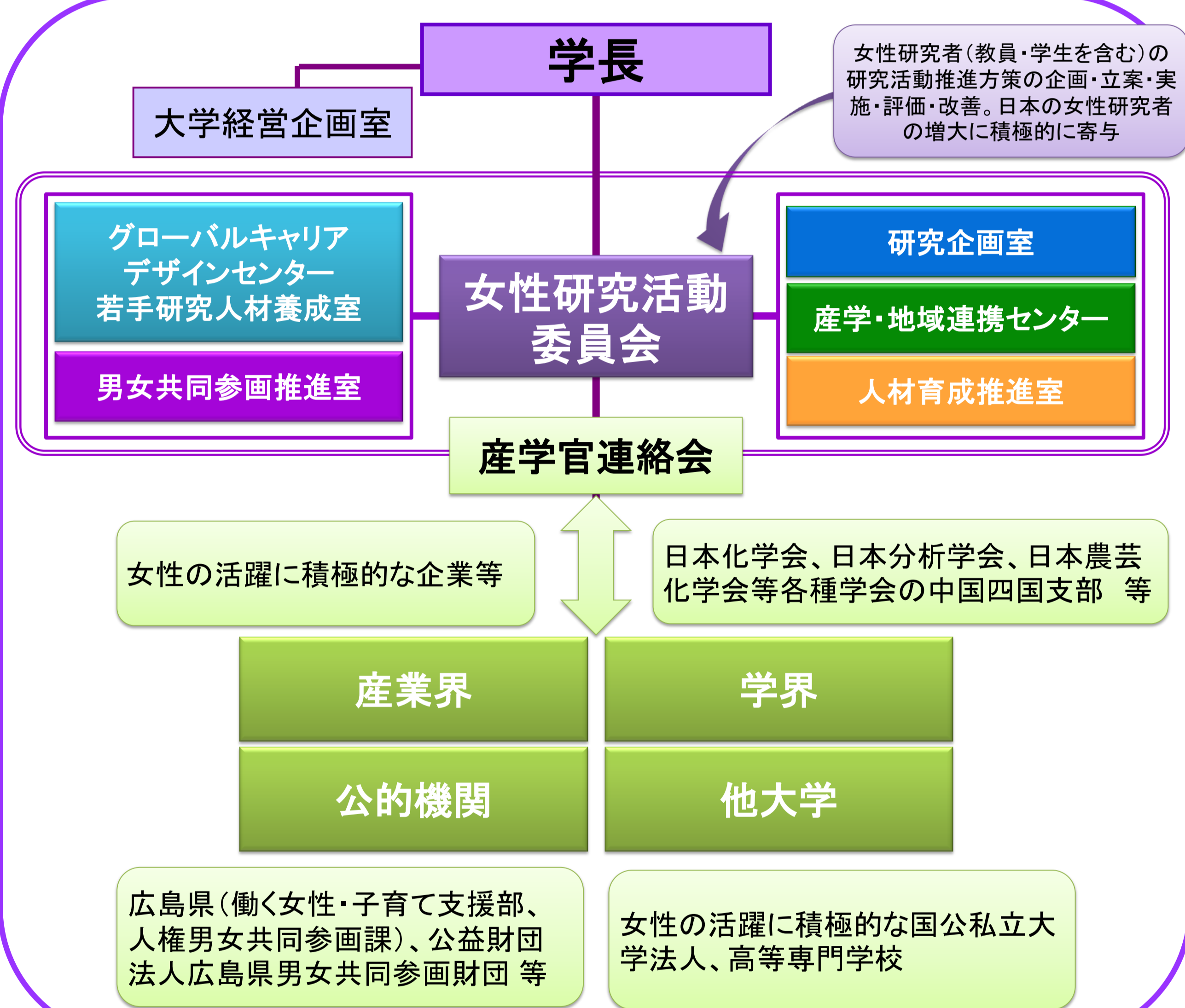
広島大学の特徴：11の学部と11の研究科からなる総合大学。3つのキャンパスをもつ。都市型大学とは異なり、大学構成員の職住が近接し、地域社会と密接な関わりがある。



## 広島大学における基盤整備等の進展状況



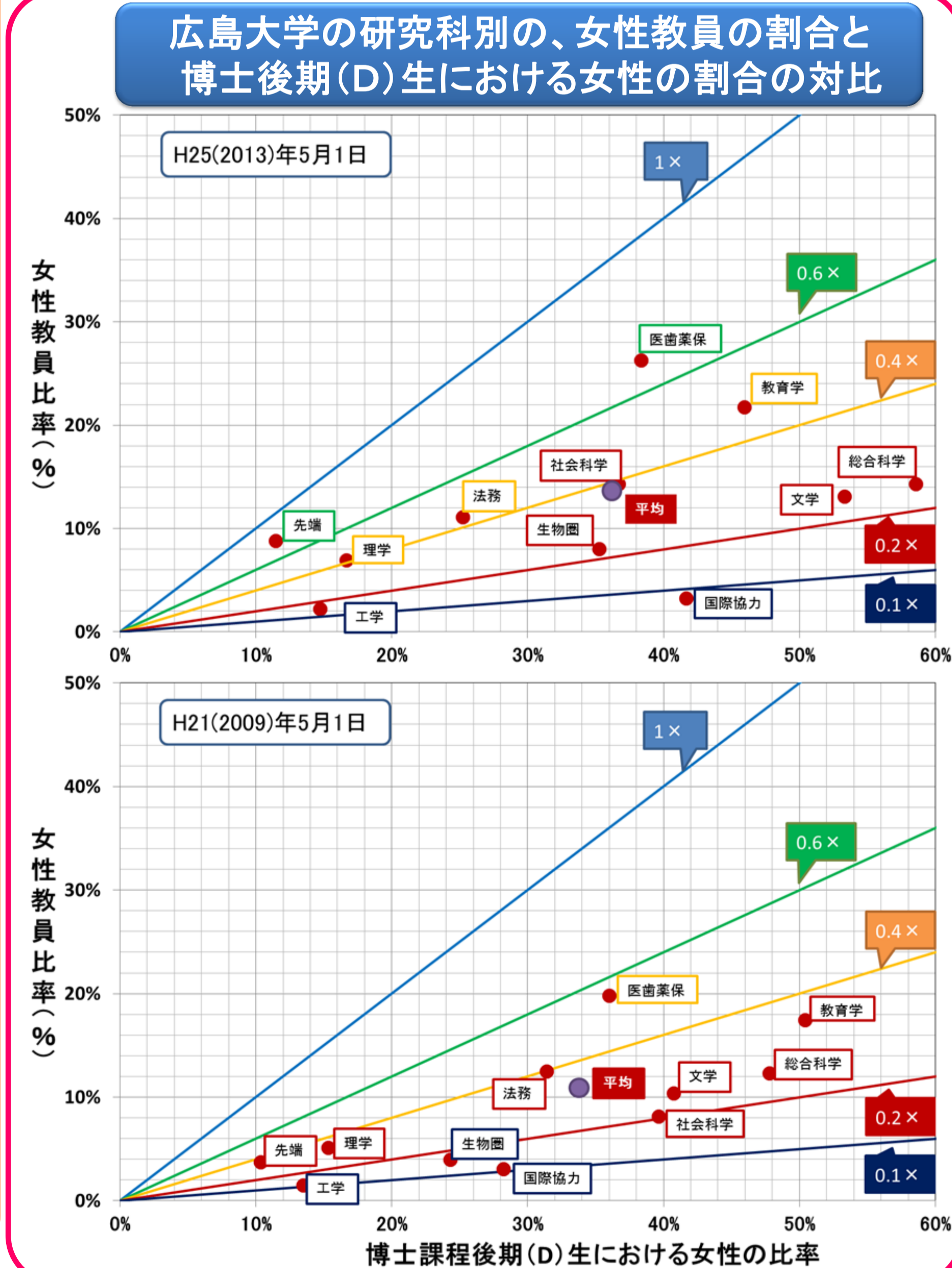
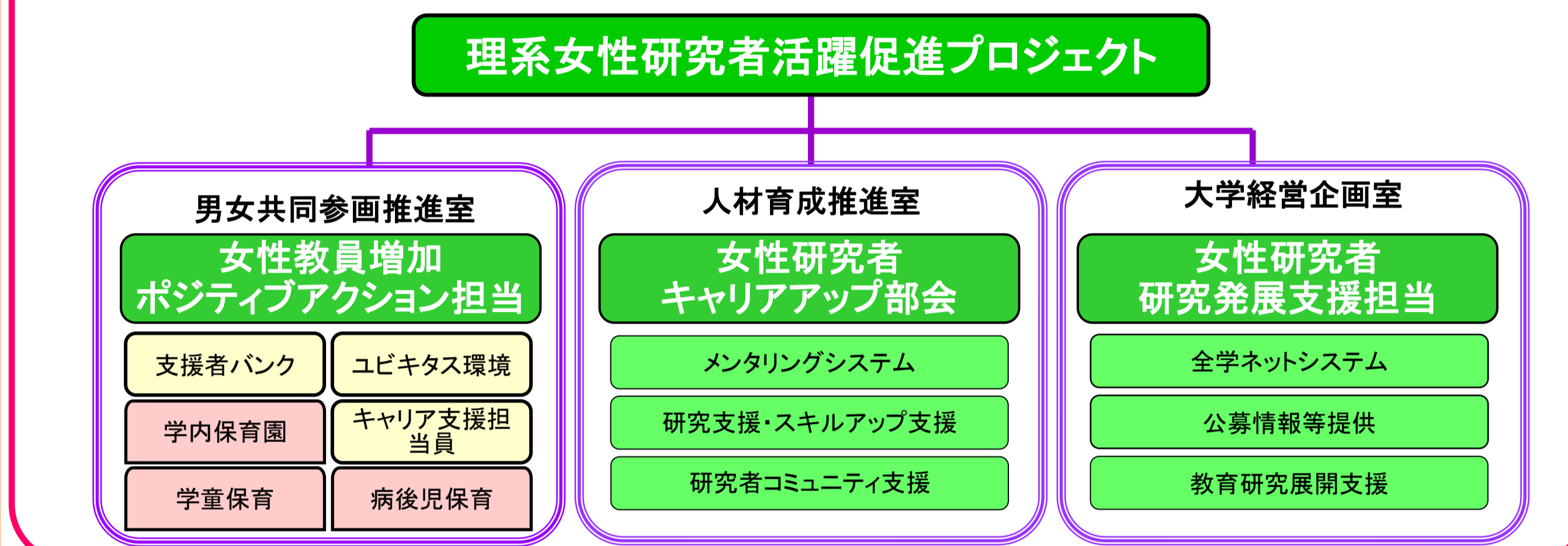
## 科学技術人材育成費補助事業(H25~H27) 女性研究者研究活動支援事業(拠点型)



女性研究者(教員及び大学院生を含む)の研究活動における活躍を支援し、新たな独創的・学際的研究を推進すること、我が国における女性研究者のさらなる活躍促進に資することを目的として、女性研究活動委員会を本学の全学委員会として設置し、同委員会に「産学官連絡会」を設けました。この連絡会を通じて、他の機関と連携した取組を進めます。

- 産学官連絡会は、女性の活躍促進に関して、さまざまな機関のみならずが情報交換や意見交換をすることを目的としています。みなさまのご意見やご要望によって、女性研究者の活動を支援し、より良い取組みにしていきます。
- ① 女性の大学院生のキャリアスタートを応援します。
  - ② 女性研究者が、研究と出産・育児・介護等を両立し、研究を継続するための環境整備の拡大・浸透を図ります。
  - ③ 中国四国地方の産学官の連携を活性化し、企業や大学、高専における女性研究者の活躍を促進します。

## 科学技術人材育成費補助金 女性研究者養成システム改革加速事業(H22~H26) 『広大システム改革による女性研究者活躍促進』



### 広島大学の教職員女性の割合

平成26(2014)年度

職名	人数	内女性	女性の割合
学長	1	0	0
理事	5	0	0
副学長	11	1	9.1%
学長特命補佐	7	0	0
副理事	25	2	8.0%
経営協議会委員※	14	2	14.3%
教育研究評議会評議員	44	2	4.5%
承継教員(全体)	1480	208	14.1%
教授	595	47	7.9%
准教授	433	57	13.2%
講師	117	31	26.5%
助教	330	73	22.1%
本務教員(全体)	1661	248	14.9%
一般職員(常勤)	580	203	35.0%

教職員数：平成26年5月1日現在 ※平成26年7月1日現在

意識啓発と基盤支援 さらなる展開

### 科学技術振興調整費 女性研究者支援モデル育成(H19~H21) 『リーダーシップを育む広大型女性研究者支援』

- 両立支援**：育児支援(学内保育園設立、学童保育など)、キャリア支援(キャリア支援担当員配置など)
- 意識改革**：全構成員対象のセミナー・シンポジウム実施、女性研究者と女子学生のペアリングチューター、女性教員・研究員メーリングリストによる情報交換、女子中高生・保護者対象(出張授業、体験科学講座など)、中国四国地方でのシンポジウム学内から中国四国地方へ
- リーダーシップ育成**：女性研究者対象プロフェッサー・シフトポストアップ特別研究員、学生対象(教養科目の開講など)
- ポジティブアクション**：公募文書にポジティブアクションを記載(H19)、部局別に女性教員採用割合目標値を設定(H20)、女性教員割合・採用割合の四半期ごとの公表(H20)、理工農系女性教員の積極的採用計画決定(H21)

※ H22より大学独自経費にて、男女共同参画推進室を中心に継続実施中

積極的改善措置  
さらなる強化

### 独自の取組み

- ・広島大学特別研究員(女性枠)
- ・部局ごとの目標値 女性教員採用割合の達成
- ・大学として重点的に推進する研究分野に女性(教授、准教授)を採用
- ・ポストアップ制 ⇒ 毎年、女性教員2名を上位の職位に昇格

### 「加速」事業による取組み

- ・新規養成女性教員 ⇒ 毎年4名(女性限定公募)(助教(応募者の業績による)) ⇒ ポストを、システム改革分として確保し 部局分に付与
- ・若手教員の育成システム
  - ・メンターシステム
  - ・研究支援システム
  - ・スキルアップ支援
  - ・研究者コミュニティ支援
  - ・教育研究展開支援